

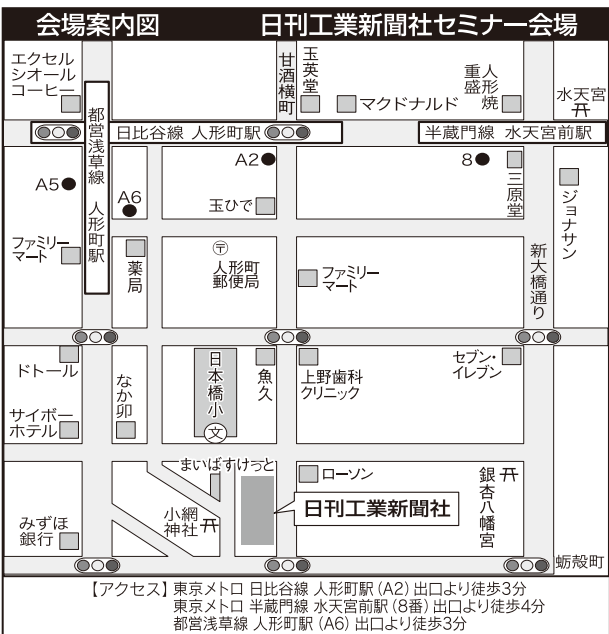
# 「設計改革」が進まない本当の理由 「改革責任者・高品質化・低コスト化」 一貫通貫“設計改革”の進め方

**日時** 2019年 **11**月 **5**日(火) 10:00~17:00  
(9:30 受付開始、休憩 11:45~12:45)

**主催**  日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム  
東京都中央区日本橋小網町 14-1 (住生日本橋小網町ビル)

**受講料** **40,000円** (資料含む、消費税別)  
\*同時複数人数お申し込みの場合2人目から36,000円



## 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

### 【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

### ●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
株日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

### ●申込先 日刊工業新聞社 総合事業局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215  
e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

## 受講申込書

### 11/5 設計改革

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：40,000円 (資料含む、消費税別) \*同時複数人数お申し込みの場合2人目から36,000円

※振込手数料は貴社にご負担ください。

会社名	フリガナ		業種
	フリガナ		
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL
	〒		
所在地	E-mail :		FAX

※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は  チェックをしてください。

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

No.190404

### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

多くの企業では、経営改革、人事改革、調達改革、生産改革、物流改革・・・様々な分野で「改革」の文字が存在しています。

しかし、「設計改革」が見当たりません。たまにあったとしても…

「2次元CADから3次元CADへ」「CAE（コンピューターシミュレーション）の活用」「ユニット化、モジュール化、プラットフォーム化」

など「ツール」や「概念」のレベルでないでしょうか。これらは昔からの定番であり、真の「設計改革」を実現するには全く不十分な行為です。

「品質の90%、コストの80%は設計で決まる」といわれるほど最重要な「設計」ですが「設計改革とは、口では言うが、実際は何から進めたらいいのか全くわからない」多くの企業でも未だこのような状況です。

実は、日本企業の中で数十年前からほとんど仕事のやり方が変わっていない部門。この令和の時代に「タコツボ化、属人化、ブラックボックス化」…未だに昭和の時代から進歩がない、それが設計部なのです。

本講座では

- ・責任を持って設計改革を遂行できる設計リーダー・改革責任者の育成方法
- ・「品質」トラブルが半減すれば開発コストも半減する！品質面での設計改革！  
⇒トラブルの未然防止方法・ミニDRによる日常トラブル潰し
- ・徹底した低コスト化を実施するための設計改革  
⇒コストの見える化、品質と低コスト化を同時に達成する設計改革手法

上記の流れで「設計改革責任者の育成」「高品質化設計改革」「低コスト化設計改革」の順に解説し、競争が激化した現在に相応しい設計改革のあり方や、「What（何を）」と「How（どうする）」を指導します。

ご期待ください。

## 講師

国井技術士設計事務所 所長  
横浜国立大学 大学院工学研究院 非常勤講師／首都大学東京 大学院理工学研究科 非常勤講師  
山梨県工業技術センター 客員研究員／高度職業能力開発促進センター運営協議会 専門部会委員  
技術士（機械部門：機械設計／設計工学）

**国井良昌氏**

**【略歴】** 横浜国立大学 工学部 機械工学科卒。日立製作所と富士ゼロックスで高速レーザープリンタの設計に従事。富士ゼロックスでは、設計プロセス改革や設計審査長も務めた。1999年、国井技術士設計事務所を設立。設計コンサルタントのほか、セミナー講師、大学非常勤講師として活躍する。おもな著書に「ついてきなあ！加工知識と設計見積り力で『即戦力』」（平成20年度 日本設計工学会武藤栄次賞 Valuable Publishing賞受賞）、「ついてきなあ！『設計書ワザ』で勝負する技術者となれ！」（平成21年度 同賞受賞）、「ついてきなあ！品質とコストを両立する『超低コスト化設計法』」「ついてきなあ！悪い『設計変更』と良い『設計変更』」（いずれも日刊工業新聞社）など多数。日本技術士会 機械部会所属。国井技術士設計事務所 URL：<http://www.a-design-office.com/>

## プログラム

### 第1章 設計改革に必要なコンピテンシー (設計リーダーの育成方法)

- 1-1 設計改革に必要なコンピテンシーとは
- 1-2 設計マネジメントには「技術」と「戦略」がある
- 1-3 設計マネジメントとは守備と攻撃ができること

### 第2章 Q：品質戦略に関する設計改革

- 2-1 まずはトラブルを半減すればCとDも半減できる
- 2-2 事例：6W2Hによる週報会での設計マネジメント
- 2-3 事例：造船企業におけるフロントローディング開発
- 2-4 事例：精密機械企業で設計審査ができない！
- 2-5 守備の設計から攻撃の設計へ移行
- 2-6 攻撃の設計ができる設計改革を目指す
- 2-7 戦略を練った企画書とは

### 第3章 Q：設計改革で品質を攻めれば CとDがついてくる

- 3-1 やさしいトラブルの未然防止方法
- 3-2 高度なトラブルの未然防止方法

### 第4章 Q：曖昧でなく明確に設計審査の 判定ができる設計改革

- 4-1 審査判定ができれば戦略マネジメントができる
- 4-2 QCDDPaに関する設計審査の方法 (Pa：特許)
- 4-3 身の丈デザインレビュー (MDR) で設計の効率を改革
- 4-4 設計に関する日常業務で優先順位を設定する改革
- 4-5 事例：優先順位の決め方

### 第5章 C：低コスト化戦略に関する設計改革

- 5-1 低コスト化における戦略マネジメント
- 5-2 常にコストを意識できる設計改革
- 5-3 品質とコストの両立ができる設計改革